

○御嶽山の噴火から10年

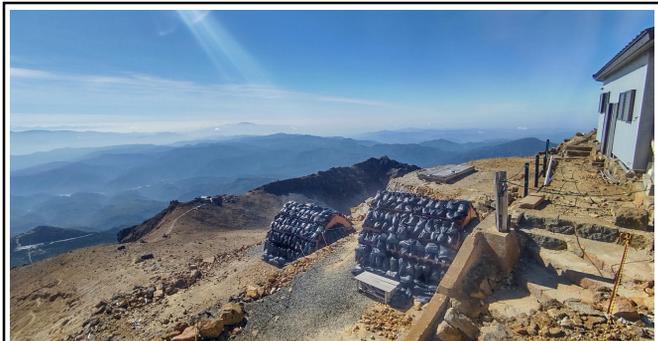
多くの犠牲者を出した平成26年9月27日の噴火災害から10年。これまでの間、安全性向上にむけた様々なハード・ソフト対策を行ってきました。

■ハード事業

剣ヶ峰付近にコンクリート製シェルター3基、鋼鉄製シェルター2基、山頂付近など御嶽山3ヶ所に防災行政無線を整備。また登山道その他、携帯電話不感地帯解消のため携帯電話基地局の整備を行いました。



防災行政無線とシェルター（コンクリート製）



上部から見たシェルター（鋼鉄製）



登山道を整備するパトロール隊



携帯電話基地局（3キャリア）

■ソフト事業・学びと伝承の取り組み

痛ましい災害を風化させず、後世に伝えることはもちろん、今後、いつ起こるかわからない次の噴火に備え、地域の子もたちをはじめとした学習に取り組み、火山である御嶽山と向き合い、共生することを目指しています。



小学校登山での現地学習会



火山防災学習の様子



御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳

【問合せ先】木曾町役場 総務課危機管理室

TEL：0264-22-3000（代表）

E-mail：shobo@town.kiao.lg.jp

事務局（鹿児島市危機管理課）

TEL：099-216-1513

E-mail：kiki-kazan@city.kagoshima.lg.jp